

4 教育研究の組織

進捗状況報告

| |
|---|
| <p>2003年度自己点検・評価項目に設定した目標の2との関連： *教育学部を2009年4月に設置するための開設準備委員会ならびに開設準備委員会執行部会が組織され、前者については18回、後者については39回の会合が持たれている。 *2008年1月15日の大学評議会決定を受けて、同年2月15日に「現代国際学部」（仮称）開設準備委員会の設置が承認された。これに続き同4月1日付で現代国際学部開設準備室が設置され、現在2010年の4月の設置（入学定員300名）のための作業が進行中である。</p> <p>2003年度自己点検・評価項目に設定した目標の4との関連： *スペース不足が懸念されていた大阪梅田キャンパスの増床を行った。この結果現行のアプローチタワー14階（1,218平方メートル）に10階部分の560平方メートルが加わり、教室、PC、相談スペースなどの不足が改善された。 *2007年6月に東京丸の内キャンパスをサピアタワー（東京都千代田区丸の内1-7-12）に設置した。このキャンパスを舞台に研究会やゼミなどの研究教育活動の支援とともに、学生の就職活動の支援がなされている。また同窓生や一般社会人に対する学習機会の提供として三日月塾、丸ノ内講座、三日月会、新月塾などがこのキャンパスを拠点に開催されている。</p> |
|---|

学内第三者評価

| |
|---|
| <p>2008年4月には、関西学院大学に人間福祉学部が開設され、関西学院には初等部が新たに設けられた。来年度は、聖和大学との法人合併があり、それにもない教育学部の開設が計画されている。それに引き続き、「国際学部」の開設計画が、すでに準備委員会も設けられ、鋭意検討されている。このように、新たな学部・学科の開設が実現に向けて進行していることが認められる。2003年度に設定した目標の一つが達成されてきている。また、サテライトキャンパスについては、大阪梅田キャンパスの増床が行われ、教室、PC、相談スペースなどの拡充が図られた。東京では、サピアタワーに東京丸の内キャンパスが設置され、研究会やゼミなどの研究・教育活動とともに、学生の就職活動支援にも利用され、大きな成果を収めている。関西学院の東京戦略の中心として貴重な役割を果たしている。サテライトキャンパスが拡充していることが認められる。</p> |
| <p>なお、学外委員からは以下の意見があった。 教育学部の開設については、開設準備委員会及びその執行部会が頻繁に開催され、着実に準備が進んでいる。 国際関係学部については、「現代国際学部」（仮称）開設準備委員会の設置が承認され、2010年4月の設置に向けて準備が進められている。新学部において育成する人間像を明らかにし、必要なカリキュラムを精査することが重要である。 関学においては、これまでも、総合的な学園の実現を目指し、幅広く多様な教育・研究組織が整備されてきている。今後、このような既存組織との相互関係について、関学への進学を希望する生徒や保護者等の外部者から見ても、わかりやすいものとなるよう、しっかりと「すみわけ」を行い、将来、各学部・研究科等がそれぞれに特徴を持って発展することが可能となるよう、綿密な検討が進められることが望まれる。</p> |